

## 世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)

<円コース><豪ドルコース><ブラジルリアルコース><中国元コース>

### 追加型投信/内外/債券

#### 月次運用レポート

2012年5月

#### 商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

「世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)」は、以下4本のファンドで構成される投資信託です。

<円コース>、<豪ドルコース>、<ブラジルリアルコース>、<中国元コース>

主としてハイブリッド証券に投資し、高水準の利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的とします。

・各ファンドは外国投資信託(ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド(ケイマン籍円建外国投資信託))への投資を通じて、金融機関( )が発行したハイブリッド証券に実質的な投資を行います。

・ハイブリッド証券とは、普通社債と株式の中間的特性を有する有価証券であり、劣後債、優先出資証券などをいいます。

( )金融機関に関連する特別目的会社を含みます。

為替変動リスクの異なる4コースの中から選択でき、その後のスイッチングも可能です。

各ファンドは毎月決算を行い、原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行います。

・毎月23日(休業日の場合は翌営業日。)の決算時には、基準価額水準等を勘案し、原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行います。

・毎年1月および7月の決算時には、安定分配に加えて委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

資金動向、市況動向等によっては、ハイブリッド証券の組入れに時間がかかる場合があるなど、上記の運用ができない場合があります。

**当資料は12枚ものです。P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。  
なお、別紙1～3も併せてご確認ください。**

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会： 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）  
 円コース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 中国元コース  
 追加型投信/内外/債券  
 月次運用レポート（2012年5月）

**主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。**

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ハイブリッド証券への……ハイブリッド証券への投資には次のような特有のリスクがあり、価格変動リスクや信用リスクは普通社債のみへ投資に伴うリスク 投資する場合と比較して相対的に大きいものとなります。

**1.劣後リスク(法的弁済順位が劣後するリスク)**

一般的にハイブリッド証券の法的弁済順位は株式に優先し、普通社債に劣後します。したがって、発行体が経営破綻等に陥った場合、普通社債等が全額支払われない限りハイブリッド証券は弁済されません。またハイブリッド証券は、一般的に普通社債と比較して低い格付が格付機関により付与されています。このため、発行体の信用力が低下した場合、普通社債以上に価格が大きく下落する場合があります。

**2.繰上償還延期リスク**

ハイブリッド証券は、一般的に繰上償還(コール)条項が付与されています。この繰上償還をいつ実施するかは発行体が決定することとなっているため、長期間償還されないこともあります。繰上償還が実施されない場合、あるいは繰上償還されないと思込まれる場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

**3.利息・配当繰延ベリスク**

ハイブリッド証券は、発行体の財務状況や収益動向等の要因によって、利息または配当の支払いが繰延べまたは停止される可能性があります。この場合期待されるインカムゲインが得られないこととなります。

為替リスク…………… <豪ドルコース> <ブラジルリアルコース> <中国元コース>

各ファンドの主要投資対象である外国投資信託の組入資産は、ユーロ、米ドルなど複数通貨(以下、「原資産通貨」といいます。)で構成されますが、この「原資産通貨」に対し、各コース毎の通貨(以下、「コース通貨」といいます。)で為替ヘッジを行います。しかし、原資産通貨の為替変動の影響を完全に排除できるものではありません。くわえてコース通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。この場合、コース通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。

また、いずれのコースにおいてもコース通貨の金利が原資産通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。

<円コース>

<円コース>の主要投資対象である外国投資信託では原則として、対円での為替ヘッジを行い為替リスクの低減を図りますが、為替リスクを完全に排除できるものではなく、原資産通貨の為替変動の影響を受ける場合があります。

また、円金利が原資産通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のコストがかかることにご留意ください。

為替ヘッジにあたり、外国為替予約取引と類似する直物為替先渡取引(NDF)を利用します。(2011年10月現在)。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待、当該国の資本規制や税制等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、ファンドの投資成果は、実際の為替市場や金利市場から想定されるものと大きく乖離する場合があります。

外国為替市場の混乱等によりNDF取引が行えなくなった場合、ブラジルリアルへの投資ができなくなる等ファンドの投資方針に沿った運用ができなくなる場合があります。

金利リスク…………… 一般的に金利が上昇すると債券の価格は下落します。各ファンドの実質的な投資対象であるハイブリッド証券は、金利変動により価格が上下します。

信用リスク…………… 実質的に投資するハイブリッド証券等の発行体が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。

流動性リスク…………… 各ファンドが実質的に投資対象とするハイブリッド証券は、一般的に市場における流動性が相対的に低いいため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。

特定の業種への…… 各ファンドの投資対象である外国投資信託を通じて、金融機関が発行したハイブリッド証券に集中投資を行うことを基本とするため、個別金融機関の財務状況および収益動向等に加えて、金融機関を監督する金融当局の政策方針や金融システムの状況など、金融セクター固有の要因によるリスクが伴います。したがって、集中投資を行わないファンドと比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。金融機関の財務状況に対する懸念の高まり、予想外の金融政策の変化等が生じた場合には、ハイブリッド証券の価格下落に伴い基準価額は大きく下落する可能性があります。また、発行金融機関が経営不安・倒産等に陥った場合には実質的に投資するハイブリッド証券の価値が大きく減少することがあり、基準価額に大きな影響をおよぼす可能性があります。

各ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は12枚ものです。

P.12の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

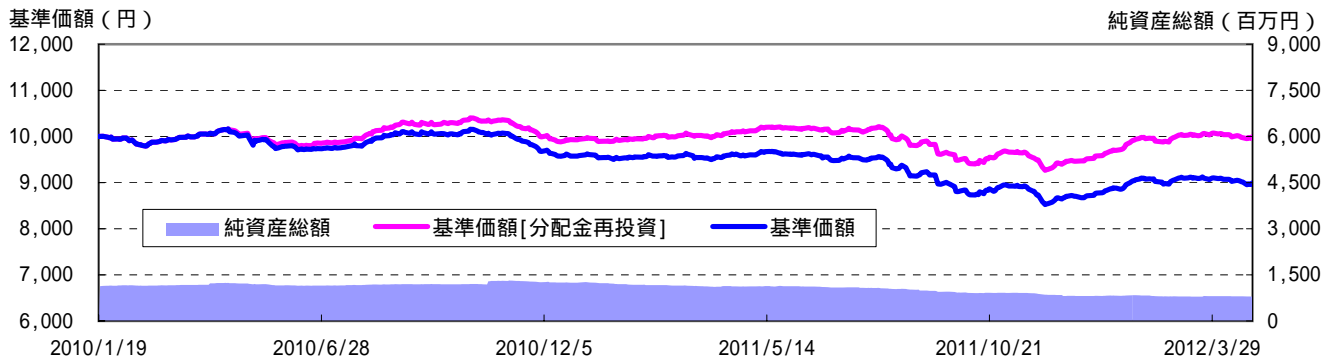
DIAMアセットマネジメント



世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)  
 円コース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 中国元コース  
 追加型投信/内外/債券  
 月次運用レポート(2012年5月)

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <円コース>

運用実績の推移



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。  
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)  
 ( 決算日の当日基準価額は税引前分配金込み )  
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。  
 ( 設定日：2010年1月20日 )  
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	8,994 円
解約価額	8,967 円
純資産総額	794 百万円

ポートフォリオ構成

ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス ( J P Y )	97.7%
D I A M マネーマザーファンド	0.2%
現金等	2.1%

比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2010/01/20)
当ファンド	-0.76%	1.06%	3.30%	-1.00%	-0.48%	-0.01%

1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。  
 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金情報(税引前)

分配金情報(税引前)				直近3年分	
第1期 (2010.02.23)	0 円	第13期 (2011.02.23)	40 円	第25期 (2012.02.23)	40 円
第2期 (2010.03.23)	0 円	第14期 (2011.03.23)	40 円	第26期 (2012.03.23)	40 円
第3期 (2010.04.23)	40 円	第15期 (2011.04.25)	40 円	第27期 (2012.04.23)	40 円
第4期 (2010.05.24)	40 円	第16期 (2011.05.23)	40 円	累計分配金	1,000 円
第5期 (2010.06.23)	40 円	第17期 (2011.06.23)	40 円		
第6期 (2010.07.23)	40 円	第18期 (2011.07.25)	40 円		
第7期 (2010.08.23)	40 円	第19期 (2011.08.23)	40 円		
第8期 (2010.09.24)	40 円	第20期 (2011.09.26)	40 円		
第9期 (2010.10.25)	40 円	第21期 (2011.10.24)	40 円		
第10期 (2010.11.24)	40 円	第22期 (2011.11.24)	40 円		
第11期 (2010.12.24)	40 円	第23期 (2011.12.26)	40 円		
第12期 (2011.01.24)	40 円	第24期 (2012.01.23)	40 円		

1 分配金は1万口当たり  
 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。  
 分配金が支払われない場合もあります。

当資料は12枚ものです。  
 P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

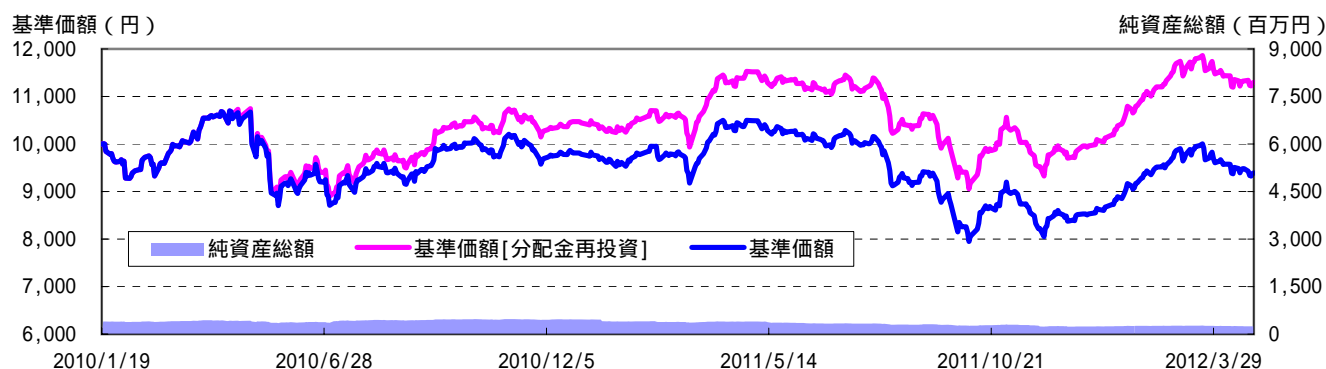
設定・運用は  
 DIAMアセットマネジメント



世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)  
 円コース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 中国元コース  
 追加型投信/内外/債券  
 月次運用レポート(2012年5月)

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <豪ドルコース>

運用実績の推移



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。  
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)  
 ( 決算日の当日基準価額は税引前分配金込み )  
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。  
 ( 設定日：2010年1月20日 )  
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	9,393 円
解約価額	9,365 円
純資産総額	248 百万円

ポートフォリオ構成

ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス(AUD)	97.5%
DIAMマネーマザーファンド	0.2%
現金等	2.4%

比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2010/01/20)
当ファンド	-1.50%	6.09%	8.99%	-1.96%	6.63%	13.01%

1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。  
 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金情報(税引前)

直近3年分

第1期 (2010.02.23)	0 円	第13期 (2011.02.23)	70 円	第25期 (2012.02.23)	70 円
第2期 (2010.03.23)	0 円	第14期 (2011.03.23)	70 円	第26期 (2012.03.23)	70 円
第3期 (2010.04.23)	70 円	第15期 (2011.04.25)	70 円	第27期 (2012.04.23)	70 円
第4期 (2010.05.24)	70 円	第16期 (2011.05.23)	70 円	累計分配金	1,750 円
第5期 (2010.06.23)	70 円	第17期 (2011.06.23)	70 円		
第6期 (2010.07.23)	70 円	第18期 (2011.07.25)	70 円		
第7期 (2010.08.23)	70 円	第19期 (2011.08.23)	70 円		
第8期 (2010.09.24)	70 円	第20期 (2011.09.26)	70 円		
第9期 (2010.10.25)	70 円	第21期 (2011.10.24)	70 円		
第10期 (2010.11.24)	70 円	第22期 (2011.11.24)	70 円		
第11期 (2010.12.24)	70 円	第23期 (2011.12.26)	70 円		
第12期 (2011.01.24)	70 円	第24期 (2012.01.23)	70 円		

1 分配金は1万口当たり  
 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。  
 分配金が支払われない場合もあります。

当資料は12枚ものです。  
 P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

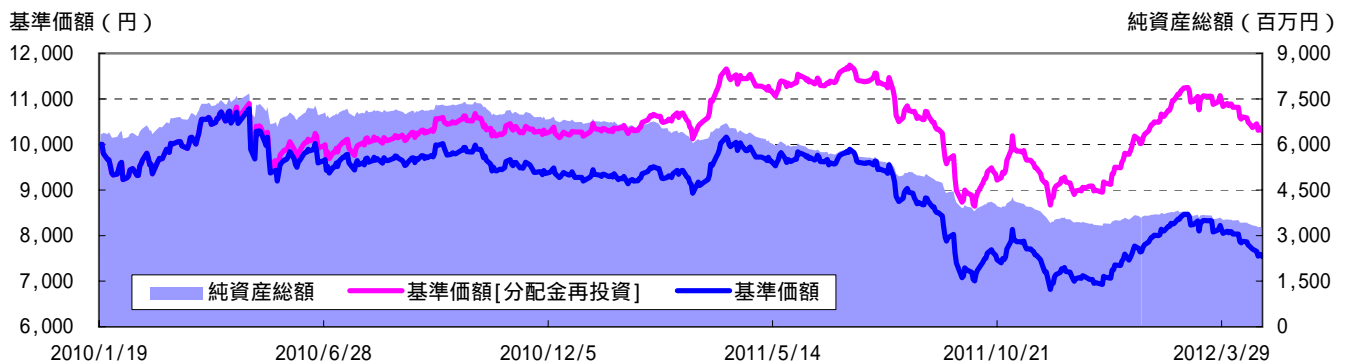
設定・運用は  
 DIAMアセットマネジメント



世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)  
 円コース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 中国元コース  
 追加型投信/内外/債券  
 月次運用レポート(2012年5月)

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <ブラジルリアルコース>

運用実績の推移



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。  
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)  
 ( 決算日の当日基準価額は税引前分配金込み )  
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。  
 ( 設定日：2010年1月20日 )  
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	7,539 円
解約価額	7,516 円
純資産総額	3,254 百万円

ポートフォリオ構成

ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス(BRL)	97.7%
DIAMマネーマザーファンド	0.2%
現金等	2.1%

比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2010/01/20)
当ファンド	-4.98%	2.78%	4.27%	-10.77%	-3.33%	2.96%

- 1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。
- 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金情報(税引前)

分配金情報(税引前)				直近3年分	
第1期 (2010.02.23)	0 円	第13期 (2011.02.23)	110 円	第25期 (2012.02.23)	110 円
第2期 (2010.03.23)	0 円	第14期 (2011.03.23)	110 円	第26期 (2012.03.23)	110 円
第3期 (2010.04.23)	110 円	第15期 (2011.04.25)	110 円	第27期 (2012.04.23)	110 円
第4期 (2010.05.24)	110 円	第16期 (2011.05.23)	110 円	累計分配金	2,750 円
第5期 (2010.06.23)	110 円	第17期 (2011.06.23)	110 円		
第6期 (2010.07.23)	110 円	第18期 (2011.07.25)	110 円		
第7期 (2010.08.23)	110 円	第19期 (2011.08.23)	110 円		
第8期 (2010.09.24)	110 円	第20期 (2011.09.26)	110 円		
第9期 (2010.10.25)	110 円	第21期 (2011.10.24)	110 円		
第10期 (2010.11.24)	110 円	第22期 (2011.11.24)	110 円		
第11期 (2010.12.24)	110 円	第23期 (2011.12.26)	110 円		
第12期 (2011.01.24)	110 円	第24期 (2012.01.23)	110 円		

- 1 分配金は1万口当たり
- 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

当資料は12枚ものです。  
 P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

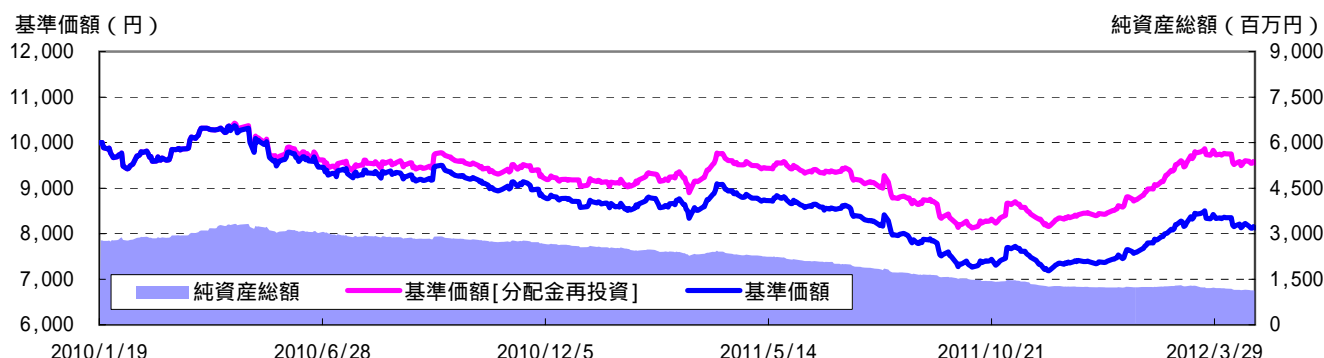
設定・運用は  
**DIAMアセットマネジメント**



世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)  
 円コース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 中国元コース  
 追加型投信/内外/債券  
 月次運用レポート(2012年5月)

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型) <中国元コース>

運用実績の推移



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。  
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)  
 ( 決算日の当日基準価額は税引前分配金込み )  
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。  
 ( 設定日：2010年1月20日 )  
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	8,124 円
解約価額	8,100 円
純資産総額	1,123 百万円

ポートフォリオ構成

ダイヤモンド ファイナンシャル セキュリティーズ ファンド クラス (CNY)	97.5%
DIAMマネーマザーファンド	0.3%
現金等	2.3%

比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	設定来 (2010/01/20)
当ファンド	-1.85%	9.55%	13.66%	-0.38%	-7.50%	-4.50%

1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。  
 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金情報(税引前)

直近3年分

第1期 (2010.02.23)	0 円	第13期 (2011.02.23)	55 円	第25期 (2012.02.23)	55 円
第2期 (2010.03.23)	0 円	第14期 (2011.03.23)	55 円	第26期 (2012.03.23)	55 円
第3期 (2010.04.23)	55 円	第15期 (2011.04.25)	55 円	第27期 (2012.04.23)	55 円
第4期 (2010.05.24)	55 円	第16期 (2011.05.23)	55 円	累計分配金	1,375 円
第5期 (2010.06.23)	55 円	第17期 (2011.06.23)	55 円		
第6期 (2010.07.23)	55 円	第18期 (2011.07.25)	55 円		
第7期 (2010.08.23)	55 円	第19期 (2011.08.23)	55 円		
第8期 (2010.09.24)	55 円	第20期 (2011.09.26)	55 円		
第9期 (2010.10.25)	55 円	第21期 (2011.10.24)	55 円		
第10期 (2010.11.24)	55 円	第22期 (2011.11.24)	55 円		
第11期 (2010.12.24)	55 円	第23期 (2011.12.26)	55 円		
第12期 (2011.01.24)	55 円	第24期 (2012.01.23)	55 円		

1 分配金は1万口当たり  
 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。  
 分配金が支払われない場合もあります。

当資料は12枚ものです。  
 P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAM**アセットマネジメント



世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）  
 円コース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 中国元コース  
 追加型投信/内外/債券  
 月次運用レポート（2012年5月）

ダイヤモンド フィナンシャル セキュリティーズ ファンド

DIAM International Ltdの現地月末データをもとに作成しています。

比率はハイブリッド証券等の評価額に対する割合です。

ポートフォリオ構成

ハイブリッド証券	98.5%
現金等	1.5%

上記、ハイブリッド証券の比率には普通社債が含まれます。

ポートフォリオの状況

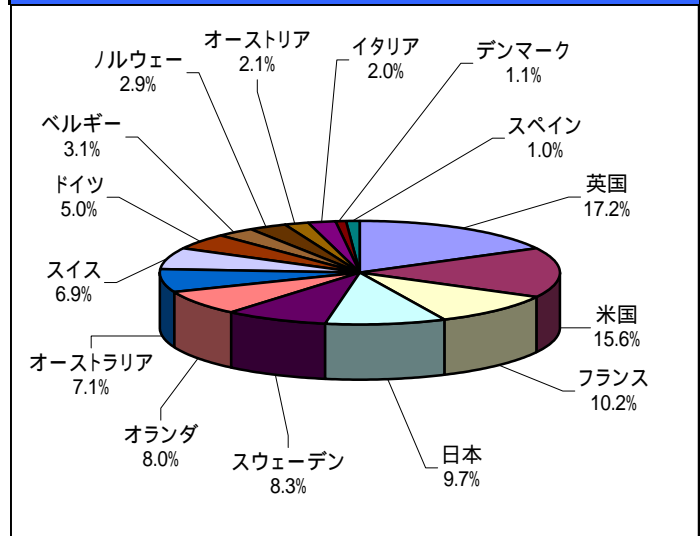
平均格付(個別銘柄)	BBB+
平均クーポン	5.72%
平均複利回り	8.34%
平均残存期間(年)	5.42
修正デュレーション	4.28
組入銘柄数	90

ファンドに組入れているハイブリッド証券等の評価額をもとに計算しています。

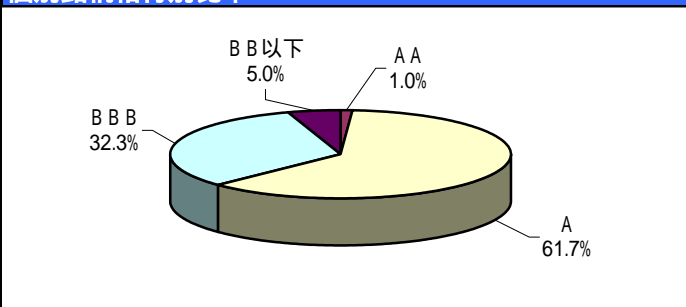
平均格付については、組入れ銘柄の格付を指数化して平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。また、S&Pの表示方法にあわせて表記しています。

平均複利回り、平均残存期間(年)、修正デュレーションについては、初回コール日に繰上償還された場合の値を使用して計算しています。

国別比率



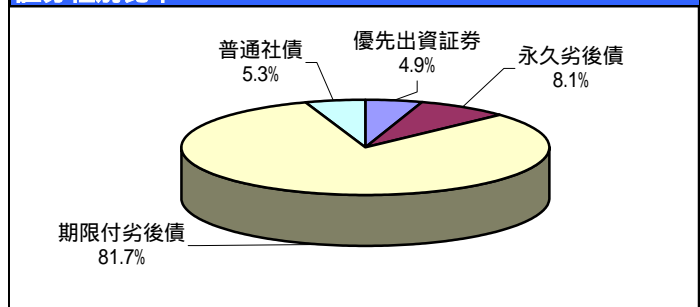
個別銘柄格付別比率



格付については、海外格付機関3社（S&P, Moody'sおよびFitch）による格付の中間のもの（2社のみ格付を付与している場合は下位のもの）を採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表示方法にあわせて表記しています。

BB以下には格付を取得していないものを含みます。

証券種別比率



組入上位10銘柄

No	銘柄名	国名	種類	クーポン	格付		償還日	比率
					個別銘柄	発行体		
1	ドイツ銀行	ドイツ	期限付劣後債	5.000%	BBB+	A+	2020/6/24	2.14%
2	スペイン・カ・ハンデルスバンク	スウェーデン	永久劣後債	5.375%	A-	AA-	2013/9/4	2.08%
3	オーストラリア・コモンウェルス銀行	オーストラリア	期限付劣後債	5.500%	A+	AA-	2019/8/6	2.05%
4	ソシエテ・ジェネラル	フランス	期限付劣後債	5.400%	BBB+	A+	2018/1/30	2.02%
5	スウェッドバンク	スウェーデン	期限付劣後債	7.375%	A-	A	2013/6/26	2.02%
6	ING銀行	オランダ	期限付劣後債	3.500%	A-	A+	2015/9/16	2.01%
7	ANZバンキング・グループ	オーストラリア	期限付劣後債	5.125%	A+	AA-	2019/9/10	1.99%
8	三井住友銀行	日本	期限付劣後債	4.000%	A	A+	2020/11/9	1.91%
9	ウェルズ・ファーゴ銀行	米国	期限付劣後債	5.250%	A+	AA-	2023/8/1	1.90%
10	DNB銀行	ノルウェー	期限付劣後債	7.250%	A	A+	2015/6/23	1.88%

格付については、海外格付機関3社（S&P, Moody'sおよびFitch）による格付の中間のもの（2社のみ格付を付与している場合は下位のもの）を採用しています。また、S&Pの表示方法にあわせて表記しています。

償還日は繰上償還条項が付与されている場合は初回コール日を表示しています。

為替ヘッジプレミアム/コスト

円	豪ドル	ブラジルリアル	中国元
-0.1%	3.4%	6.1%	2.6%

数値は、為替取引による為替ヘッジプレミアム/コストです。

当資料は12枚ものです。

P.12の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

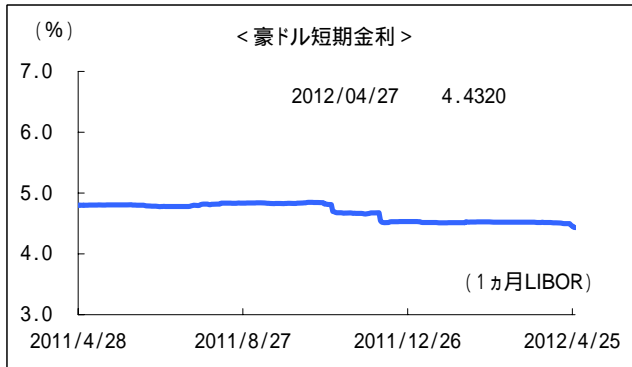
DIAMアセットマネジメント



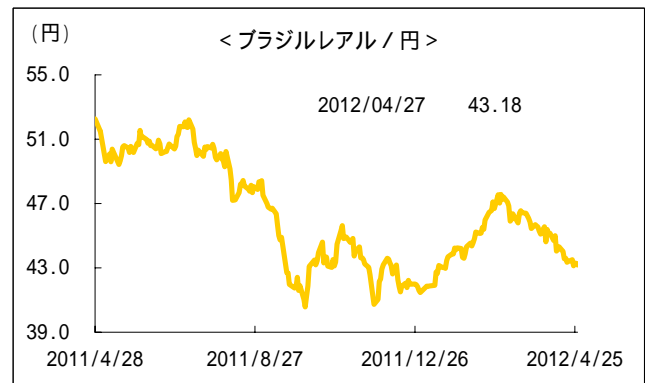
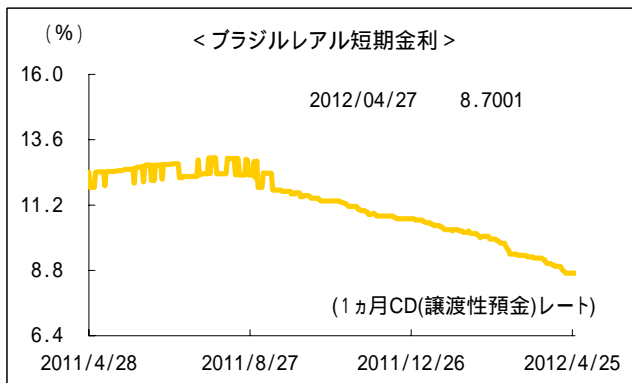
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）  
 円コース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 中国元コース  
 追加型投信/内外/債券  
 月次運用レポート（2012年5月）

各国の短期金利と為替の推移（直近1年）

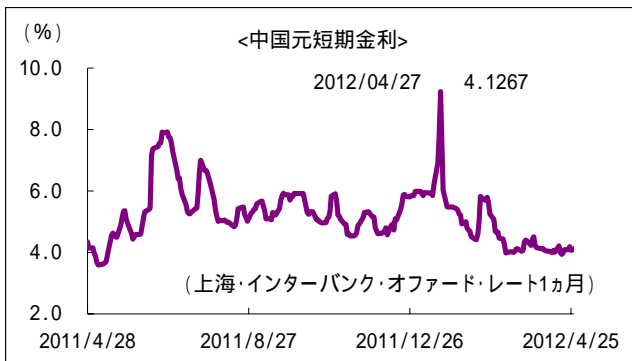
オーストラリア



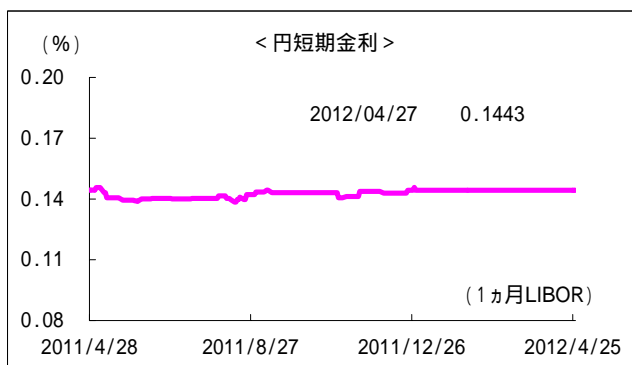
ブラジル



中国



日本



1 短期金利はBloombergのデータを基に作成しています。  
 2 為替レートはTTM（東京外国為替市場の対顧客電信仲値）を使用しています。

当資料は12枚ものです。  
 P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

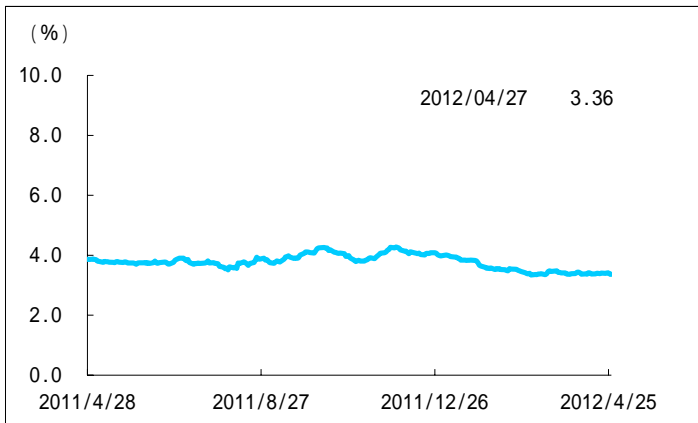
設定・運用は  
**DIAM**アセットマネジメント



世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）  
 円コース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 中国元コース  
 追加型投信/内外/債券  
 月次運用レポート（2012年5月）

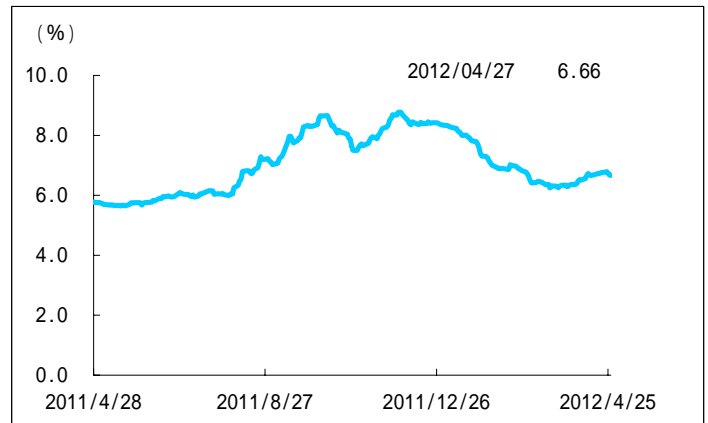
（ご参考）普通社債・ハイブリッド証券の利回りおよびスプレッド（直近1年）

普通社債利回り



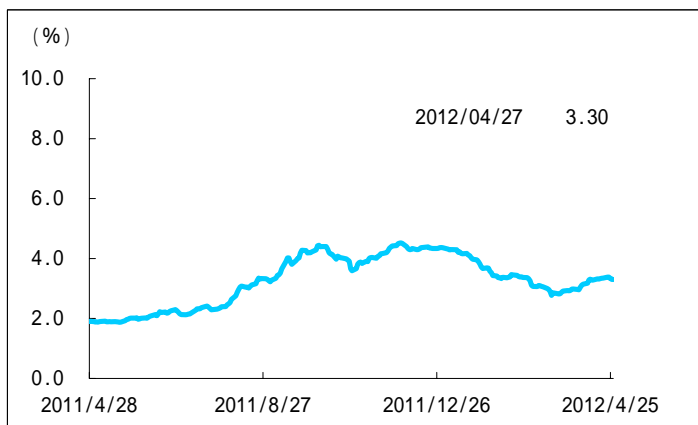
普通社債利回りはパークレイズ・キャピタル・グローバル総合・社債インデックスの利回り(\*)です。

ハイブリッド証券利回り



ハイブリッド証券利回りはパークレイズ・キャピタル・グローバル優先証券インデックスの利回り(\*)です。

スプレッド（ハイブリッド証券利回り-普通社債利回り）



スプレッドはハイブリッド証券利回りと普通社債利回りの差を表示したものです。

（出所：パークレイズ・キャピタルよりDIAM作成）

(\*)利回りは、繰上償還利回りを表示しています。繰上償還利回りとは、債券の満期前に発行体により償還(コール)もしくは、買い戻され、繰上償還日に投資家が額面の支払いを受ける場合の利回りをいいます。繰上償還の実施は発行体の任意で行われるため、必ず繰上償還日に償還されるとは限りません。

・パークレイズ・キャピタル・グローバル優先証券インデックスは、パークレイズ・バンク・ビーエルシーの投資銀行部門であるパークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格優先証券市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズ・キャピタルに帰属します。  
 ・パークレイズ・キャピタル・グローバル総合・社債インデックスは、パークレイズ・バンク・ビーエルシーの投資銀行部門であるパークレイズ・キャピタルが開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、世界の投資適格社債市場のパフォーマンスをあらわします。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズ・キャピタルに帰属します。

当資料は12枚ものです。  
 P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAM**アセットマネジメント 

世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ（毎月分配型）  
 円コース 豪ドルコース ブラジルレアルコース 中国元コース  
 追加型投信/内外/債券  
 月次運用レポート（2012年5月）

### 当月のマーケット動向とファンドの動き

#### 【4月の市場動向】

4月のハイブリッド証券市場は小幅に下落しました。スペインの財政赤字削減に対する懐疑的な見方の強まりや、大統領選挙を控えたフランスの政局不安などを材料に、ユーロ圏のソブリン危機への懸念が再度高まり、金融市場では投資家がリスク性資産を回避する動きが強まりました。このため、ハイブリッド証券利回りの国債利回りとの格差を示す信用スプレッドは拡大し、ハイブリッド証券価格の下落要因となりました。一方、基準となる国債利回りについては、米国債およびドイツ国債利回りが低下したことから、ハイブリッド証券価格の上昇要因となりました。ハイブリッド証券の実質的な運用を行う「ダイアム フィナンシャル セキュリティーズ ファンド」の平均複利利回りは前月末比0.1%程度上昇しました。

為替市場では、米国の景気回復期待が若干後退したことや、ユーロ圏のソブリン危機が再び意識されたことから、円が主要通貨に対して上昇しました。

豪ドル/円相場は、豪ドル安円高となりました。投資家のリスク回避姿勢が強まる中、RBA(オーストラリア準備銀行)による追加利下げ観測が強まったことで、豪ドルは対円で下落しました。

ブラジルレアル/円相場は、レアル安円高となりました。ブラジル当局が通貨高を抑制する姿勢を明確化する中で、ブラジル中央銀行が政策金利を0.75%引き下げたことから、ブラジルレアルは対円で下落しました。

中国元/円相場は、元安円高となりました。米国経済の先行き不透明感の強まりを背景に、米ドルが円に対して下落したことから、実質的に米ドルに連動している中国元も対円で下落しました。

(なお、為替については、ロンドンの月末前日を基準として記載しています。)

#### 【パフォーマンスとその要因】

4月は、円コースの基準価額は、ハイブリッド証券価格の下落がインカム収入を上回り、前月末比で0.76%下落しました。豪ドルコースの基準価額は、豪ドルが対円で下落したことに加えて、ハイブリッド証券価格が下落したことにより1.50%下落しました。ブラジルレアルコースの基準価額は、ブラジルレアルが対円で下落したことに加えて、ハイブリッド証券価格が下落したことにより4.98%下落しました。中国元コースの基準価額は、中国元が対円で下落したことに加えて、ハイブリッド証券価格が下落したことにより1.85%下落しました。

#### 【4月の投資行動】

ユーロ圏のソブリン危機が再び意識されたことで、金融市場のリスク回避姿勢が強まったため、前月末とほぼ同様のポートフォリオを維持しました。

### 今後のマーケットの見通しと運用方針

#### 【今後の市場見通し】

緊縮財政の実施に伴い欧州景気の先行き不透明感が強いことや、スペインに代表されるように財政赤字の削減が計画通りに進まないリスクも依然として高いことから、ユーロ圏のソブリン危機に対する投資家の懸念は根強く残ると予想され、短期的には神経質な展開が継続すると見られます。

中長期的には、ハイブリッド証券市場は国債市場を上回る投資リターンを確保すると予想します。主要先進国の金融システム上重要な銀行については、ユーロ圏周辺国の国債関連の投資損失に伴い、ファンドの主要投資対象である期限付劣後債まで棄損する可能性は依然として低水準と考えられます。また、主要先進国の国債利回りが極めて低水準にとどまる中、高い利回りを享受できるハイブリッド証券に対する投資家の潜在需要が根強いと見られることも、ハイブリッド証券の下支え要因になる可能性があります。

#### 【今後の運用方針】

引き続き発行国、発行体、銘柄の分散を十分に図りながら、主要先進国の金融システム上重要な銀行に継続投資します。銘柄選択においては、法的弁済順位が劣化するリスク、繰上償還延期リスク、利息・配当繰延リスクなどハイブリッド証券特有のリスクが債券価格に十分織り込まれた銘柄を厳選します。また、既にEU(欧州連合)およびIMF(国際通貨基金)による救済に至ったギリシャ、ポルトガル、アイルランドの銀行が発行するハイブリッド証券については、引き続き保有しない方針です。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は12枚ものです。

P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



**世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)**  
 円コース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 中国元コース  
 追加型投信/内外/債券  
 月次運用レポート(2012年5月)

**お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して6営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	購入・換金・スイッチングのお申込日がロンドン証券取引所、ニューヨーク証券取引所、ロンドンの銀行、ニューヨークの銀行のいずれかの休業日に該当する日には、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2020年1月23日までです。(設定日:2010年1月20日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 各ファンドが投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなった場合。 各ファンドにおいて受益権口数が10億口を下回るることとなった場合。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎月23日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回、毎決算時に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金支払コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金再投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
スイッチング	「世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)」を構成する各ファンド間で1口以上1口単位でスイッチングができます。スイッチングの際には、ご換金時と同様の費用・税金がかかります。 スイッチングのお取扱い等、くわしくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

**お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。  
 詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時	
購入時手数料	購入価額に <b>3.15%(税抜3.0%)</b> を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
スイッチング時	
スイッチング手数料	<b>ありません。</b> ご換金時と同様の信託財産留保額がかかります。 販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは販売会社までお問い合わせください。
換金時	
換金手数料	<b>ありません。</b>
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> を乗じて得た額とします。
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用(信託報酬)	実質的な信託報酬:信託財産の純資産総額に対して年率 <b>1.9225%(税抜1.86%)</b> (概算) ・各ファンド:信託財産の純資産総額に対して年率1.3125%(税抜1.25%) ・投資先外国投資信託:投資先外国投資信託の純資産総額に対して年率0.61%程度 外国投資信託の信託報酬等には、年間最低報酬額が定められている場合があり、純資産総額等によっては年率換算で上記の信託報酬率を上回る場合があります。
その他費用・手数料	組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

当資料は12枚ものです。

P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

**DIAMアセットマネジメント**



世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)  
 円コース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 中国元コース  
 追加型投信/内外/債券  
 月次運用レポート(2012年5月)

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。

お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したもとのとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。

当資料における内容は作成時点(2012年5月16日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

各ファンドは、実質的に値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

ファンドの関係法人

< 委託会社 > DIAMアセットマネジメント株式会社

< 受託会社 > みずほ信託銀行株式会社

< 販売会社 > 販売会社一覧をご覧ください

委託会社の照会先

DIAMアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-506-860

(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

印は協会への加入を意味します。

2012年5月16日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号					

その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

< 備考欄について >

- 1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- 2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- 3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

当資料は12枚ものです。

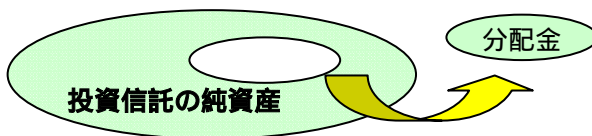
設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

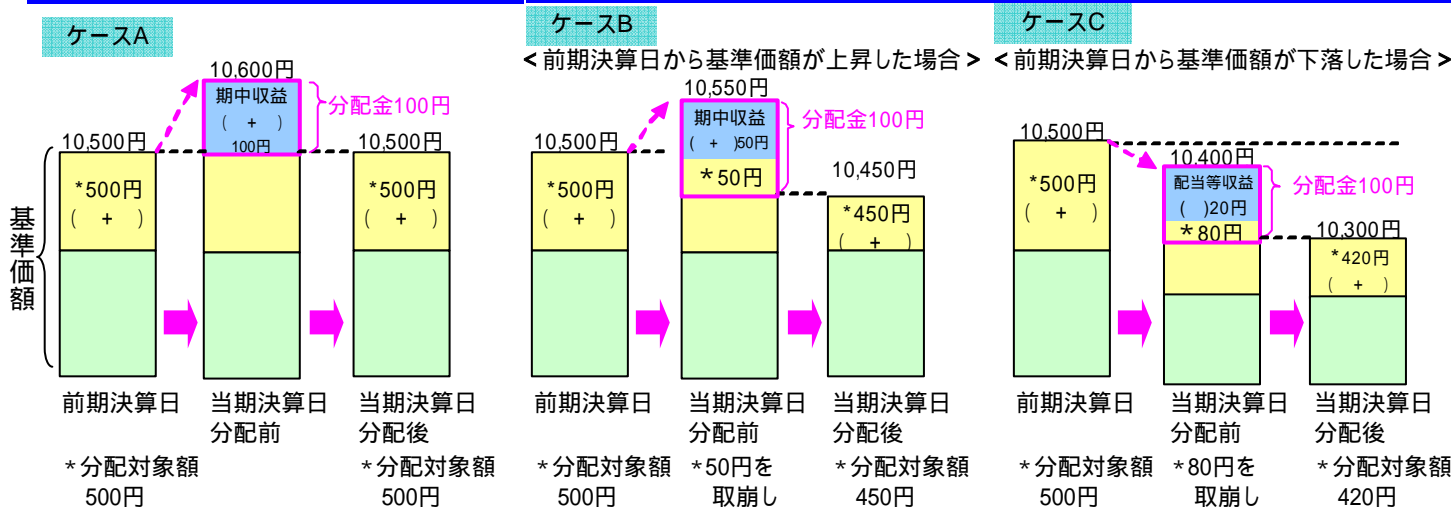
### 分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、有価証券売買益・評価益(経費控除後)、分配準備積立金、収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円  
 ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円  
 ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

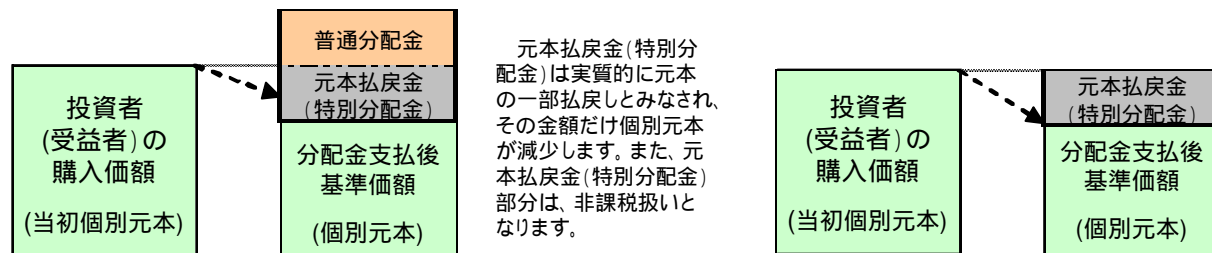
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

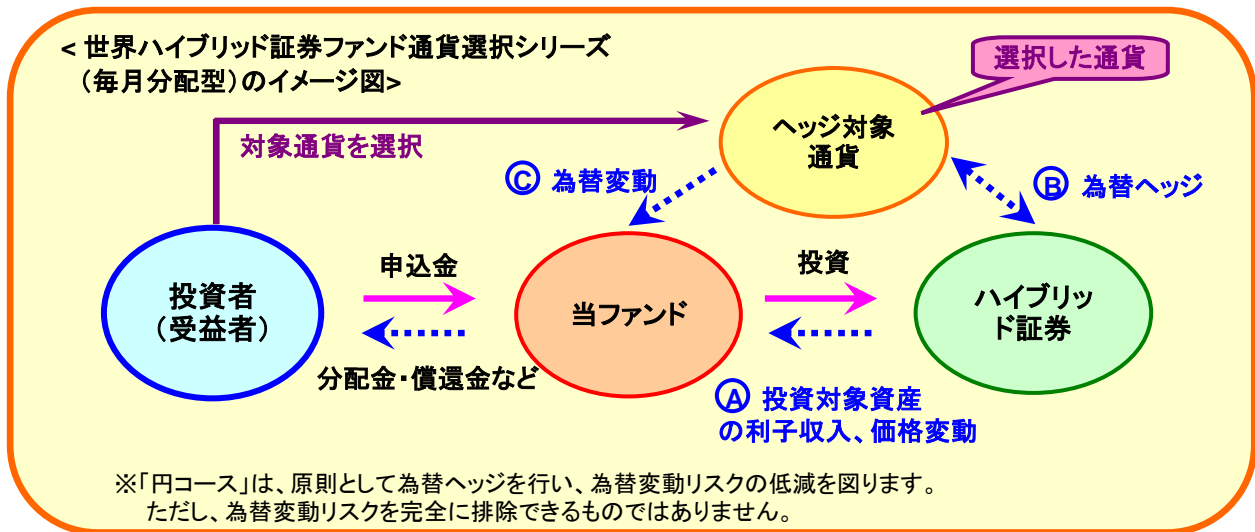
分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



**普通分配金**: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金(特別分配金)**: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。  
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替ヘッジの対象となる円以外の通貨も選択することができるように設計された投資信託です。



- 世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ(毎月分配型)の収益源としては、以下の3つの要素があげられます。

① 投資対象資産による収益(上図A部分)

- ・ ハイブリッド証券が値上がりした場合や利子が支払われた場合は、基準価額の上昇要因となります。
- ・ 逆に、ハイブリッド証券が値下がりした場合には、基準価額の下落要因となります。

② 為替ヘッジプレミアムによる収益(上図B部分)

- ・ 「選択した通貨」の短期金利が、「ハイブリッド証券の通貨」(原資産通貨)の短期金利よりも高い場合は、その金利差による「為替ヘッジプレミアム」が期待できます。
- ・ 逆に、「選択した通貨」の短期金利のほうが低い場合には、「為替ヘッジコスト」が生じます。

※「選択した通貨」が新興国通貨の場合などは、金利差がそのまま反映されない場合があります。

③ 為替変動による収益(上図C部分)

- ・ 上図B部分とは異なり、上図C部分については為替ヘッジを行っていないため、「選択した通貨」(円を除く。以下同じ)の円に対する為替変動の影響を受けることとなります。
- ・ 「選択した通貨」の対円レートが上昇(円安)した場合は、為替差益を得ることができます。
- ・ 逆に、「選択した通貨」の対円レートが下落(円高)した場合は、為替差損が発生します。

- これまで説明しました内容についてまとめますと、以下のようになります。

収益の源泉	=	ハイブリッド証券の利子収入、 値上がり/値下がり	+	為替ヘッジプレミアム /コスト	+	為替差益/為替差損
収益を得られる ケース		金利の低下 等 ↑ ハイブリッド証券の 価格の上昇		↑ ヘッジ対象通貨の短期金利 > 原資産通貨の短期金利 ヘッジプレミアムの発生		↑ 円に対してヘッジ対象通貨高 (円安) 為替差益の発生
損失やコストが 発生する ケース		↓ ハイブリッド証券の 価格の下落 金利の上昇 発行者の信用状況の悪化 等		↓ ヘッジコストの発生 ヘッジ対象通貨の短期金利 < 原資産通貨の短期金利		↓ 為替差損の発生 円に対してヘッジ対象通貨安 (円高)

※「円コース」は、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※ 市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

## 為替予約取引とNDF取引

為替ヘッジは、主に「為替予約取引」を用います。

しかし、一部の新興国通貨では…  
(中国元、ブラジルレアル、インドルピー、  
インドネシアルピアなど)  
**「為替予約取引」ができません。**

そこで

**NDF取引**を活用

【理由】

為替市場が未成熟であったり、当局が国外での自国通貨の流通を制限しているなどの理由で、本国以外で多額の当該通貨の保有、調達、決済などが難しいためです。

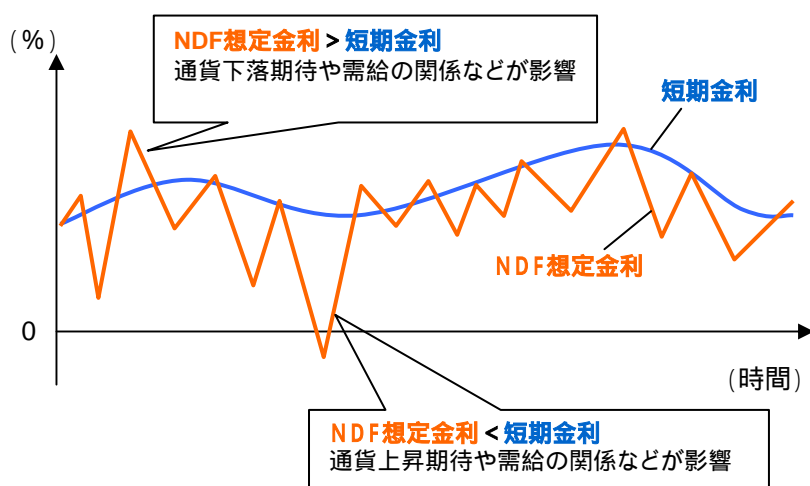
## NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引とは

直物為替先渡取引の一種です。主に金融機関との相対取引で、当該通貨の受渡しが発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済を行います。

通常の為替予約取引と比べ、取引参加者が少ないことや、当局による金融・資本市場における制約などから、金利裁定(割高や割安を是正する市場のメカニズム)が働きにくいだけでなく、取引参加者の為替見通しを反映した需給の影響をより強く受けることがあります。

そのため、**NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離**する場合があります。

< NDF想定金利と短期金利が乖離する例(イメージ) >



NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)は、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる程低くなる場合もあります。その場合、為替ヘッジプレミアムの減少や為替ヘッジコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

左記は、イメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

外国為替市場の混乱等によりNDFが利用できなくなった場合には、選択した通貨への投資ができなくなるなどファンドの運用方針に沿った運用ができなくなるリスクもあります。同様のことが通常の為替予約取引についてもいえますが、特にNDFは為替予約取引に比べて流動性が乏しくなることがあるため、そのリスクが高くなります。

上記の要因以外でも、投資対象資産の通貨の短期金利が上昇した場合は、為替ヘッジプレミアムが減少したり、為替ヘッジコストが生じる可能性があります。

上記は、NDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。  
(出所：各種情報に基づきDIAM作成)